

この度は、不燃Rコーナーをお買い上げ頂きありがとうございます。下記の説明をご確認の上、正しく施工してください。

■ 設計・施工時の注意

セメント系の不燃材料です。材質上 折れやすいので、持ち運び時は片持ちせず、長さ中央部付近を両手で持って慎重にお取り扱い願います。

- コーナー材は、必ず木下地あるいは軽量鉄骨下地に固定してください。
- 留め付けは、必ず、コーナー材の種類に応じた同梱の専用ねじ(ドリルねじφ5×L35またはL45)を使用してください。
- 切断は、ダイヤモンドチップソーもしくはグラインダー(切断砥石など)を使用してください。
- ■ 施工手順の②、③-1、③-2については、パテ処理業者様、クロス貼り施工業者様、塗り壁施工業者様にご指導ください。

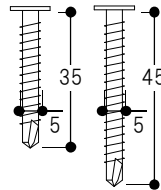
【注意】 廃棄処理の際は、必ずせっこうボードと分別してください。

● 省令準耐火構造の住宅に使用する場合は、『フクビクロス下地コーナー材を用いた枠組壁工法住宅および木造軸組工法住宅 特記仕様書』に準じた内壁仕様としてください。(※9.5mm用(1枚張り時のみ)と、12.5mm2枚張り用は、省令準耐火「非対応」です。) <<特記仕様書を手ご希望の方は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。>>

■ 施工手順

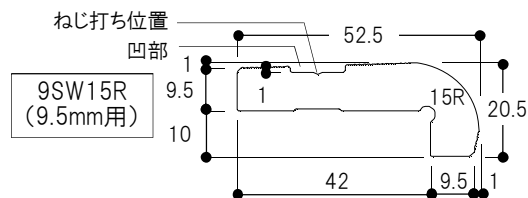


9SW15R (9.5mm用) のねじ【φ5×L45】 15S15R (15mm用) のねじ【φ5×L35】
12S15R (12.5mm用) のねじ【φ5×L35】 12W15R (12.5mm用2枚張り用) のねじ【φ5×L45】

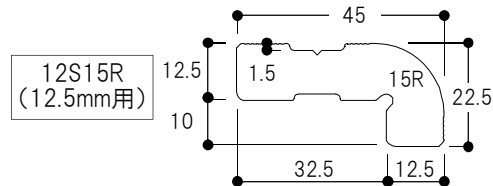
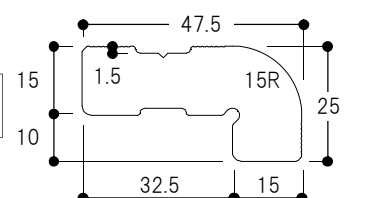


① コーナー材の固定

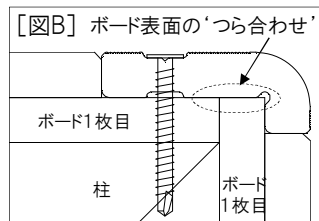
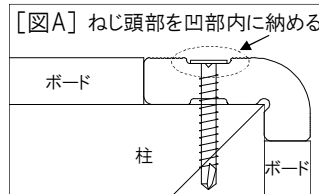
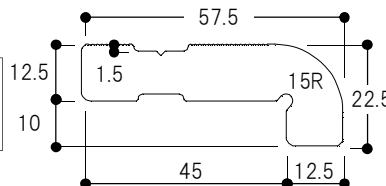
- 必ず、同梱の専用ねじを使用し、ねじ打ち位置を狙って500mm以下の間隔で留め付けてください。
- 端部は小口面から50mmの位置を固定し、50mm未満にはねじを打たないでください。
- ねじはコーナー材に対して垂直に打ち、ねじ頭がコーナー材に食い込まないよう凹部に納めてください。[図A]
- コーナー材を繋げる場合や、コーナー材とせっこうボードの継ぎ目は、隙間が出来ないように突付けてください。
- せっこうボードを2枚張りしてコーナー材を施工する時は、せっこうボード1枚目の表面を綺麗に‘つら合わせ’してください。[図B]



15S15R (15mm用)



12W15R (12.5mm 2枚張り用)



【注意】 下穴を開けなくても留め付けできますが、ねじを斜めに打ったり、締め付け過ぎたりすると、ねじ頭がコーナー材に食い込んで割れることがあります。

パテ処理業者様、クロス貼り施工業者様へ

② コーナー材へのパテ処理、サンディング処理

- ねじ打ちした凹部ならびにせっこうボードとの目地部にパテを充填し、段差無く平滑に仕上げてください。
- パテは、下塗り2回+上塗り1回=計3回塗りを基本としてください。1回目の下塗りパテが完全に乾燥した後に2回目の下塗りパテを塗り、2回目の下塗りパテが完全に乾燥してから上塗りパテを塗ってください。
- 上塗りパテが完全に乾燥してから、サンディングを行って平滑にしてください。

クロス貼り施工業者様へ

③-1 コーナー材へのクロス貼り

- 上塗りパテを完全に乾燥させ、サンディング処理が終わってからクロス貼りしてください。
- サンディング時のパテ粉がコーナー材の表面に残っていないことを確認してください。
- 糊付け後はクロス仕様や室内環境に応じたオープンタイム(熟ませ時間)を十分に取ってください。

【注意】 下塗りパテや上塗りパテの乾燥が不十分のうちにクロスを貼ると、パテに含まれている水分蒸発によってクロスにしわが入ったりクロスが浮いたりすることがあります。また、糊付け後のオープンタイム(熟ませ時間)が短いと、クロスを貼った後も裏打ち紙の伸びが続き、コーナー部に縦長のふくれが発生することがあります。

塗り壁施工業者様へ

③-2 コーナー材へのシーラー処理、ジョイントテープ貼り、パテ処理

- 必ず各塗材の施工要領に準じることとし、必要に応じて、コーナー材表面へのシーラー処理や、せっこうボードとの目地部へのジョイントテープ貼りを行ってください。
- ねじ打ちした凹部ならびにせっこうボードとの目地部に各塗材専用のパテを充填し、段差無く平滑に仕上げてください。